

青森家庭少年問題研究会では、平成25年7月から、毎週土曜日の午前中、小学生・中学生等を対象に、学習支援活動を行っています。

青森市母子寡婦福祉会の協力を得て、現在ひとり親家庭の子どもたち16人を対象に、ボランティア登録してくれた県立保健大学の学生さんが、子どもたちの学習進度に合わせて1対1を原則に勉強を教えています。

■今年度前半の行事報告です。

①お花見会(4月27日:合浦公園)

ゴールデンウイーク初日、桜はまだ大丈夫でした。初めて参加する1年生の大学生が緊張気味、子どもたちのほうが落ち着いていて余裕が感じられました。子どもと学生のチームで公園内をおしゃべりしながらクイズラリー、屋台のお店で好きなものを購入したり射的に挑戦したり等、楽しい時間を過ごしました。

②スポーツ交流会(6月22日:保健大学体育館)

バレー、リレー、しっぽとりの競技で身体を動かしリフレッシュできたのはもちろんですが、始まる前に全員が輪になり進行者の話をきちんと聞いていたり、ラジオ体操を真面目に(!)やってたり、お菓子をもらうときに「ありがとう」といつてくれたりお友達に順番を譲ってあげたり



等、昨年から大きく成長したな～という実感できたことがたくさんあったことが本当に嬉しいです。

③デイキャンプ(8月24日 モヤヒルズ)

真夏日の日差しでもお構いなく、鬼ごっこ、缶けり、フリスビー、リレーで元気に走り回る子どもたち。バーベキューとデザートのマシュマロ焼き、スイカ割りしたスイカをお腹いっぱい食べ満足の一日でした。



④大学祭(10月12日 保健大学)

今年の販売は「スマート」。子どもたちも調理に参加し、販売のアイデアをだしてくれたりといつもと違う一面をみせてくれ大活躍でした。

行事ごとにさまざまな体験のなかで、子どもたちと学生の距離が近くなっていることが感じられます。気持ちが通じ合い、素直な心の触れ合いが増えるといいですね。

★学習支援の申込★

学習支援の申込は随時受付しています。

- ・対象は、小学生・中学生です。
- ・申込、お問合せは、青森県母子寡婦福祉連合会（電話017-735-4160）あて。
- ・学習費用は無料。初回時のみ登録料として子ども1人500円お願いします。
- ・なお、学生ボランティアの数により、申込をお断りする場合があります。